

協議会ニュース

号 発行年月日 平成五年七月一日
2 全国病児保育協議会事務局
第 53 落葉樹年1月 0200 (50) 0-9
6

特殊出生率一・五〇という現実

全国病児保育協議会

会長 保坂 智子

梅雨の中の日々となりまし
た。先日、五月末の全国病児保
育協議会代表者会議がつい先頃
のことのように思われますのに、なく生まれた子供達はまわりの
もう一ヶ月が経つて、まもなく
訪れる「太陽の季節」を感じ
ながら日々の診療に追われてい
ます。六月・七月は病児保育室
も利用者が多く二月と共に年間
のピーク（研究班調査）とい
う忙しさです。

早くから集団保育に

それにしてもこの程発表され
た平成四年の人口動態統計によ
れば一・〇九を割ると人口減少
につながると云われる合計特殊
出生率が一・五三という昨年を

更に下まわって一・五〇と八年
連続の低下となり、出生数一二
一万人と報ぜられています。少

れ、愛玩物のように飾り立てら
れ、日々小児科医としてそれを
目のあたりにする私はこの子達
の行末を考え、国の未来を思い
暗然たる気持ちにさせられます。
かねてからの持論でしたが早く
から集団保育に入つて人間とし
ての力をつけるのも悪くはない
とあらためて一般論的に肯定す
る気持ちにさせられます。お母
さん一人を相手に団地のベラン
ダで遊ぶ子も、お買物に連れ廻
される子も、どんどん開放され

た保育所の園庭で保母さんの指
導をうけながらくんずほぐれつ
の遊びをしてほしいと思います。

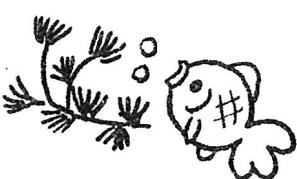
病児デイケアの早期制度化を
めた要望書をもつて真嶋監事（
バンビ・東京）と共に厚生省に
名須川担当課長補佐を訪れ、面
談、要望させていただきました。

折から府内では予算編成の時期
のようで熱心に要望をきいてい
たゞきました。

園で約十万人の子供達が病児デ
イケアを必要としている現状
（研究班報告）があります。病
児保育に預けてよかつた八九・
六%その他施設の実態調査、利
用者へのアンケート等からも機
能別に分けられたそれぞれの病
児保育室の現状がよく評価され、
存在が肯定され研究班による最
終結論もこれから育児支援事
業の一つとして「病児デイケア
サービス」のシステム化が不可

欠と結論づけられています。た
ゞ代表者会議でも熱心に討議さ
れ、研究班からも真摯な指摘を
うけたようにその運営は経済的
に厳しく、既設病児保育室につ
いても公的助成のあるところと、
ないところの格差がきつく一日

も早い制度化を願う気持ちです。
六月四日には会議の討論をまと
めて要望書をもつて真嶋監事（
バンビ・東京）と共に厚生省に
名須川担当課長補佐を訪れ、面
談、要望させていただきました。



乳児の「コミュニケーション機能

横浜国立大学教授

小林 芳文

活動III一日目

前回の、「乳児のコミュニケーション機能」の続編を、

ケーション機能」の紹介します。

生後4～6ヶ月の時期の子供に

望まれるマーブメント環境(例)

・子どもを「フローラー」に腹臥位で寝かせる。鈴などのオモチャを前や横において、手を出すきっかけをつくる。大人が声かけをしながらその関わりを援助する。

・子どもを抱っこする。もう

一人の人が、その子どもと向かい合って「イナイナイナ

バー」の遊びをする。大きめの布を用意し顔を隠しておかしめる。ときどき子どもの両手をつかんで「バンザイ」をしたり、足をつかんで「ブ」ラブラー」をしながら、身体を動かすムーブメントを楽しむきっかけを作る。

自他循環要求の段階

(生後7～9ヶ月)

この時期の子どもは、外界に対する要求行動が活発化し、次第にその対象も明確化できるようになる。また、あわせて他人に対しても目的を定めて要求するようになり、自分と他人との相互のやりとりを循環的に発展できるようになれる。しかし、この両者の関係は、まだ言語が介在しないので、専ら手や足など体を使って行なわれる形態を取る。これは、ピアジェのいう第4段階の「手段-目的関係の理解の始まり」のパターンであるが、発達を援助するための感覚運動を取り入れた発信-受信システムを、示唆するものである。

1)の時期にみられる機能

生後7～9ヶ月にある乳児のコミュニケーション機能は、

以下のような項目で説明される。(MEPA-I-II 参照)

・人見知りをする。

・遠くにいる人を呼ぶように声を出す。

・持っているオモチャなどを取ろうとするといやがる。

・そばに寄って来たり、膝にのったりする。

・睡語で、人に話かける。

望まれるマーブメント環境(例)

この時期の子どもは、坐位

が出来、ハイハイによる移動

が出来るようになるので、ま

ず彼らが手を出して遊びたくなる環境や、移動を促すよう

な活動を援助することが必要

となる。保育の場において、

大人は音の出るオモチャを意

図的に子どもの回りに置いた

り、近づいてきたら手を出し

て、抱いてあげたり、話しかけたりする」とことで、相互の関

四月五日

《問い合わせ》

パド ウイメンズ オフィス
(東京)より掲載について

四月六日

TBS「モーニングコール」
にて『泊江すこやか病児保育室』放映

四月六日

TVを見て問い合わせ(東京)

四月六日

《問い合わせ》

高槻市の院内保育所より

四月七日

《見学》

枚方市企画部

四月二十一日

枚方市広報課ビデオ撮り

四月二十四日

枚方市長来室

五月十三日

《見学》

佐世保乳児保育園 園長

自発的循環要求の段階

(生後一〇～一八カ月)

子どもは、一才前後になる
と、これまでの事物に対し
なんとなくフィードバックし、
反応するパターンを脱し、極

めて自発的な応答行動が、相
手を引き込みコミュニケーション
を拡大していく。これが

第2次相互性の成熟である。
このように興味は、後に出現
する高い社会性の自覚のス
タートである。人との関わり
は、遊びの形態にも影響をも
たらす。一人遊びから、もの
(事物)を介した他人との関
係の遊びも次第に出来るよう
になり、簡単な行動の模索も
可能になってくる。

1)の時期にみられる機能

生後10～18カ月にある

子どものコミュニケーション
機能は、大体以下のようないく
項目で、説明される。

(MEPA-II 参照)

・「バイバイ」に手を振った
り、「ダメ」に首を振った
りする。

・人の手を引いたり、動かし
たりして要求を伝える。

・指さしで要求を示す。

・意味のあるいとはを、一
二語言える。

・象徴遊びをする。

・簡単な指示（「～を持つて
きなさい」など）に従う。

・象徴遊びをする。

・簡単な指示（「～を持つて
きなさい」など）に従う。

望まれるムーブメント環境（例）

この年齢は、大人と子ども
の相互関係が拡大する時期と
象徴遊びが出始める時期と
で、玩具などの「物」を手段
にした活動が出来るような環
境が必要である。特にボール
(風船)などの玩具は、コミュニケ
ーション(やりとり遊び)
の助長と全身運動のため
に効果的である。

文献

小林芳文他、MEPA-II 感
覚運動発達アセスメント、コ
レール社、一九九二

（ふや知・らせ）

五月十九日

（問い合わせ）

婦人生活社(東京)記者より
五月二十九日

全国病児保育協議会代表者
会議開催（於枚方市）

五月三十一日

全国の病児保育室の実態が
まとめられています

一部 一〇〇〇円

事務局で取り扱っています。

より

六月一日

（見学）熊本市職員二名

六月四日

（見学）保坂会長 間嶋監事 厚生省

賛助会費 一〇一〇〇〇円
へ要望書提出懇談

六月十一日

（見学）

吹田保育運動連絡会 八名

第二回

（ふや知・らせ）

「子どもの病気への

理解と対応」

「病児の心理と援助」

活用される方は事務局まで。

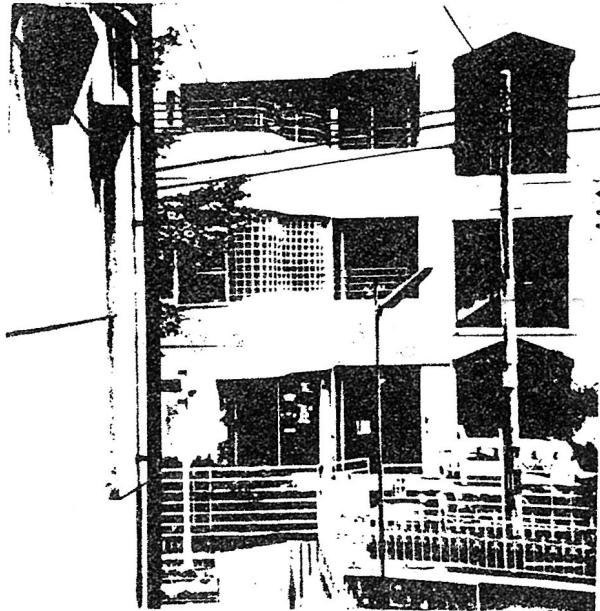
総会

十一月二十日(土)午後二時

研修会・懇親会

十一月廿一日(日)午前中

施設紹介



病気明け保育室 「のんたんルーム」

病気明け保育室「のんたんルーム」は社会福祉法人「阿望仔」が運営している特別事業です。その他法人として望之門保育園、マナ乳児保育園、ナルド夜間保育園の各保育園と学童保育所、一時的保育の各事業を行っています。

望之門保育園は創立四十四年で、親子二代にわたっての利用家庭も珍しくありません。現在各園合わせて在園児は一五〇名です。

保育室では個々の体調に合わせた対応を十分にすることは、現状では出来ません。回復期の子ども達がゆっくりと過ごせる保育室があつたら・・・との思ひが保育者達にありました。

「のんたんルーム」は、軽い風邪症状の時や、感染症の予後に利用できます。

利用の仕方は、会員として登録し、予約の後利用します。現在法人独自で運営している為、入会費と共に、維持会費、利用料と会員の負担が大きく、公的補助の待たれるところです。

保育園内にある利点としては、日頃の子どもの様子が判り、異和感なく、スムーズに病気明け保育室で過ごせることや、又元気になれば、クラスの保育に短時間参加したりと、体調に合わせてクラスに戻れるよう連携を

し、関西新空港への玄関口としての再開発により、どんどん商業地に変わりつつあり、その為

地価・家賃の高騰も激しく、子育て家庭の住みにくい状況となっています。

病気明け保育は、三年前職員間での「今後のあり方」を、話しあった中でうまれたものです。子どもが病気になっても充分に回復するまで、働く親は仕事を休めず、その為に早々に登園してくる子どもがいます。

開設して三年目で少しづつ会員も増え、利用児も多くなってきました。全員加入を目指に頑張っています。

